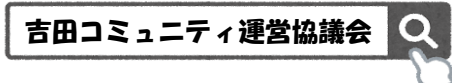




コミュニティだより



発行 登米市吉田公民館 TEL: 0220-55-2124
 (指定管理者 吉田コミュニティ運営協議会) FAX: 0220-55-4528



吉田コミュニティ運営協議会 理事会 【2月2日(木)】

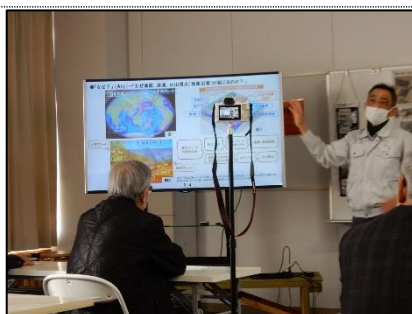
登米市から受託している指定管理事業の補正予算や世代間交流レクリエーション大会の開催について等を議題として理事会を開催しました。補正予算は電気料金の値上げにより予算に不足が生じるので登米市から委託料が増額されたこと、決算見込み額に合わせた費目間の増減を調整した内容で原案可決されました。世代間交流レクリエーション大会の開催については2月20日に每户配布したコミュニティだより号外でお示したとおりの決議内容でした。皆様の参加お待ちしております。

吉田コミュニティ運営協議会 役員移動研修会 【2月2日(木)～3日(金)】

昨年度からテーマにしている廃校施設の利活用について学習する移動研修会に、役員・職員合計16名が参加しました。始めに市内迫町の森小学校廃校後に同施設に移転した森公民館を訪問し、施設見学をしてから森コミュニティ運営協議会から移転に至った経緯や現在の活動状況を伺って意見交換いたしました。その後、東松島市の旧野蒜小学校施設を市から借りて運営している防災体験宿泊施設のキボッチャに移動し、校内に残る震災の傷跡や施設の概要の説明を受け、元教室だった8人部屋(二段ベッド4組)に入り、寝食を共にし、懇親を深めました。翌日はキボッチャで朝9時から防災学習として座学で防災の基礎とマイタイムライン、実技でロープワークを学び、石巻市に移動して南浜の東日本大震災津波伝承館で展示説明を受けるなど二日目は防災の大切さを学んだ研修会でした。



(森公民館での研修)



(防災学習)



(津波伝承館で学習中)

キッズサークル 米山3公民館合同楽習会 【1月28日(土)】

1月、米山には雪がなく心配していましたが、国立花山青少年自然の家の周りはそり滑りやチューブ滑りには十分な雪。午前中はジェスチャーゲームや物づくりを楽しみ、昼食後待ちに待った体験楽習。思いっきりそりや、チューブ滑りで雪遊びを満喫。各学校の上級生が、4年生を気遣う姿がとても頼もしく感じられた一日でした。



(フェルトバッグを作成中)



(そり・チューブ滑り)



(全員集合)

裏面もご覧ください →

としよりの居場所づくり事業

高齢者の冬期間の健康増進を目的とした事業も残り1か月となりました。1月下旬からの寒波にも負けず2月は毎日のように室内グラウンドゴルフで体育館は賑やかでした。今シーズン第3回目の予選大会は2月8日に28名が参加して行われ、永沢地区の伊藤昭一さんが優勝し、予選大会は永沢地区の方の3連覇で終了しました。3月15日はいよいよグラウンドチャンピオン大会です。予選通過の皆さんの熱い戦いが期待されます。



平筒沼ふれあい公園 サクラの枯損木お譲りします

伐採したサクラの枯損木をお譲りします。

昨年7月の大雨被害により枯れた平筒沼遊歩道付近のサクラの木を伐採したので、希望する方に無償でお譲りしますと登米市から連絡があったのでお知らせします。

○伐採したサクラの木を無償譲渡

○譲渡期間は、令和5年3月1日（水）から3月10日（金）まで

【注意事項】

○伐採済みのサクラの木の幹や枝は、平筒沼の遊歩道沿いに残置しておりますので、積込運搬のために遊歩道内に乗り入れできるのは軽トラックのみとさせていただきます。

○遊歩道を散策される方や車両同士のトラブル防止のため、積込運搬に係る説明をさせていただき、説明を受けた方に遊歩道乗り入れ許可証を発行しますので、希望される方は必ず手続きをお願いします。

○手続き場所：YOUYOU 館

○手続き期間：2月28日（火）から3月10日（金）午前9時から午後4時30分まで



館長の戯言（ざれごと）No. 16 「きゃねえ」（参考図書：方言に生きる古語）

前回「きゃーな」「きゃな」を取り上げ、古語の「かいな」が変化して方言として残っていると記しましたが、読者から「「きゃねえ」も「きゃな」から来てんだべが」と問い合わせがあったので調べてみました。

「きゃねえ」はか弱いとか病弱という意味で使われています。福島県や山形県でも同じ意味で「かえなえ」「かいな」と言うそうで、「生き甲斐」とか「甲斐がない」などとして使われる「甲斐」から転じたものだと思います。古くから「甲斐あり」「甲斐なし」と使われていたそうで、竹取物語にはあきらめの心境として「血の涙を流してまどえど甲斐なし」と使われているとのこと、中世以後に「いくじがない」という意味が加わってから東北地方に伝わり、「いくじがない」意味を「か弱い」などの意味に変化させて使っている特徴的な方言だと思います。と、本にはありましたが、「か弱い」「病弱」の意味からすると育てた甲斐ないとか食わせた甲斐ないという意味もあったのではと感じます。